

授業科目 レクリエーション基礎論

【担当教員名】 小田切 毅一		対象学年	1	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GI0】 レクリエーション指導をするに当たって必要な、指導者としての基礎的な理論や原理を学ぶ。レクリエーションを必要とする現代生活の多様なニーズに応え、自らの生活をより善くデザインするような、生きる能力や基礎的教養を身につける。					
【学習目標】 ・労働と余暇の関係論に基づいてレクリエーションの意味を説明できる。 ・レクリエーション指導者（インストラクター、コーディネーター）への理解と関心を高める。 ・高福祉にも通じる社会的刷新運動としてのレクリエーション運動の意義について、自ら人に伝えることができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	はじめに：レクリエーションとは何か：言葉「レクリエーション」を考える				
2	レクリエーションを教える、指導するとどんなこと？				
3	「遊び論」の広がりレクリエーション支援				
4	「ホモ・ルーデンス」的人間観、レクリエーション支援の立場に立ったゲーム活用術				
5	社会運動としてのレクリエーション（１）：モデルとしてのアメリカと日本の事例など				
6	社会運動としてのレクリエーション（２）：「支援者」に期待される役割				
7	「みんなの生涯レクリエーション」を考える				
8	ライフステージ上での生活課題とレクリエーション、遊びを選ぶなど				
9	人間関係論の視野から見たレクリエーションの意義				
10	アイスブレイキングの意義、コミュニケーション・ワークとしてのレクリエーション				
11	余暇行動論の視野からみたレクリエーション、余暇行動の実体から学ぶ、				
12	福祉社会論の視野からみたレクリエーション・ワーク、その実践事例など				
13	ニュースポーツ論の視野からみたレクリエーションのプログラム・事業				
14	指導者論の立場からみたレクリエーション支援とは				
15	総括：私にとって「レクリエーションとは何か」から				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)		レクリエーション支援の基礎：楽しさ・心地よさを活かす理論と技術		日本レクリエーション協会	日レク協会
参考書					2008・2,000円＋税
その他の資料		授業に先立ち適宜配布			
【評価方法】 出欠の実績＋試験・レポート			【履修上の留意点】		